



私たちの湘南御行会だより

湘南御行会発行

令和2年6月1日220号

今月もコロナのことを！

いつの間にか爽やかな5月も残り6日カエルの声が聞こえる季節となりました。相変わらず自粛の生活が続いていますが、感染者数の推移を見ますと少しずつ明るい兆しが見える気がします。政府の方針に大半の国民が従った結果です。もう少しで緊急事態宣言が解除になるかも知れません。グラウンドゴルフは出来るでしょうか？カラオケはどうか？今月も少しコロナのお勉強をしましょう。流し読みで良いですよ。この記事は5月24日に書いています。状況は24日現在です。WHOが命名した新型コロナウイルスによる感染症の正式病名はCOVID-19⇒コビット19です。その意味は「2019年に発生した、コロナウイルスによる病気（感染症）」です。病名などの決め方は、2015年にWHO事務局長代理の「福田恵一」さんが、病名、ウイルス名には地名、地域名、人名、動物名などを付けるべきでないとの提言を行い決めました。地名などはその地に住む人等にマイナスの印象を植え付けることを懸念するとの理由からです。病名に地名を付けた事例として日本には「水俣病」があります。公害から発生した病気ですが、水俣の風土病と誤解され辛い思いをしている人が今でも居るそうです。コロナウイルスは発生当初「武漢ウイルス」一部で「中国ウイルス」と言われましたが決まりから言えば地名は付けません。名前に端を発して情報公開でアメリカと中国の間で言い争いが行われています。お互いに言いたい事は有るかと思いますが、先に紹介した福田さんは、ウイルスの名前が原因で起きている国家間の緊張の高まり、このことは本当に大切な事から目をそらさしてしまう互いに言い分、情報隠しも有るかも知れないが、大切な事は、如何にこのウイルスを止めるか世界が協力して立ち向かえるかが重要と、国家間の言い争いには警鐘を鳴らしています。次に最近よく目にするコロナに関わるカタカナ言葉です。皆さんは理解できますか？

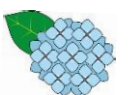
1	パンデミック	世界的大流行	5	ソーシャルディスタシング	社会的距離
2	クラスター	小規模な集団感染	6	フィジカルディスタシング	身体的距離
3	オーバーシュート	爆発的急増	7	ロックダウン	都市封鎖
4	ステイホーム	家に居なさい	8	ロードマップ	進行計画・行程表

英語をそのままカタカナにした言葉が独り歩きしている感があります。意味不明のカタカナ言葉は恐怖感が沸きます。カタカナ英語を使わないで日本語に優しく翻訳して話して欲しいですね

言語学者の金田一秀穂さんはカタカナ語は、なるべく使わない方が良い、コロナ騒動で政府関係者は分かり易く訳す時間が無かったのではと話しています。「ステイホーム！」何か犬に指示しているみたいですね、犬に、ハウス！⇒小屋に戻れ！と言いますからね。ステイホーム⇒「お家に居ましょう」。と優しく語りかけて欲しいと思います。話変わりますがこんな話があります。100年ほど昔、世界的に大流行し世界で5千万、日本でも39万人の死者を出した「スペイン風邪」病名にスペインの名前が付いていますが、当時は第一次世界大戦の真っ只中、最初の発病者はアメリカで、感染した海兵隊員がヨーロッパに上陸した時にウイルスをばら撒いたとの説が有力で、結果各国で感染者が拡大しました、しかし軍事秘密として、発病者の数を公にしなかったそうです、ただスペインだけが正直に公表したので、スペインが発病の基として、スペイン風邪なる名前が付いたそうです。若しアメリカが最初に公表していたら多数の死亡者は出なかったかも知れません。今回のコロナ騒ぎ、若し中国がもっと早い時期に情報公開していたならば様子は変わった可能性は有るかもしれません。明日25日には神奈川県も緊急事態宣言が解除される状況です。憶測が色々飛び交うかも知れませんが、私達は翻弄されずにゆっくり行きましょう。待望の10万円給付、藤沢市から書類が送られてくると広報に書いて有りました、どの様な書類かは分かりませんが、我々世代にも簡単に作成できる事を祈ります。 岩田記 そう言えばマスクもまだ来ないなあ！

お詫びと訂正

5月号に今年の役員名簿を載せましたが、樋口さんの名前が記載されていませんでした。お詫びして追加させていただきます 役員名追加 理事；樋口雪子



24 節気 72 候 (にじゅうしせっき ななじゅうにこう)

季節の変わり目、日本にはそれを表す優しい言葉があります。俳句の季語にも使われ日本人の感性が感じられます、それは24 節気(にじゅうしせっき) 72 候です。歴史を語れば奥深いので簡単に言うと、太陽の動きをもとに一年を二十四等分、季節の節目を表す言葉がつけられました。これを更に細かく分類した72 候。こちらは成る程と、思わずうなずく表現で的確に季節の流れを捉えています。今月は**24 節気**の解説です、72 候は機会があれば会報に載せて見たいと思います。(時々登場させます)

時 候	日にち	名称	名称の読み	意味合い
初 春	2月 4日頃	立 春	りっしゅん	始めて春の気配が現れてくる。
	2月19日頃	雨 水	うすい	雪水が溶けてが雨に変わる候
仲 春	3月 6日頃	啓 蟄	けいちつ	地中に潜んでいた虫が這い出る。
	3月21日頃	春 分	しゅんぶん	春の中間日。昼と夜の長さが同じ
晩 春	4月 5日頃	清 明	せいめい	桜等木の花が咲き始め、清朗の気が溢れる。
	4月20日頃	穀 雨	こくう	春の温かい雨が降って穀類の芽が伸びる。
初 夏	5月 5日頃	立 夏	りっか	始めて夏の気配が現れてくる。
	5月21日頃	小 満	しょうまん	万物が次第に成長して一定の大きさに育つ。
仲 夏	6月 6日頃	芒 種	ぼうしゅ	稲等芒ある穀物の種蒔き時。
	6月21日頃	夏 至	げし	夏の間日。昼間の長さが一番長い
晩 夏	7月 7日頃	小 暑	しょうしょ	梅雨が明け本格的に暑くなる。
	7月23日頃	大 暑	たいしょ	一年で最も暑くなる
初 秋	8月 7日頃	立秋	りっしゅう	始めて秋の気配が現れてくる。
	8月23日頃	處 暑	しょしょ	暑さが峠を越える。
仲 秋	9月 8日頃	白 露	はくろ	大気が冷えてきて露ができ始める。
	9月23日頃	秋 分	しゅうぶん	秋の中間日。昼と夜の長さが同じ
晩 秋	10月 8日頃	寒 露	かんろ	露が冷気によって凍りそうになる。
	10月23日頃	霜 降	そうこう	露が冷気によって霜となって降り始める
初 冬	11月 7日頃	立 冬	りっとう	始めて冬の気配が現れてくる。
	11月22日頃	小 雪	しょうせつ	僅かながら雪が降り始める。
仲 冬	12月 7日頃	大 雪	たいせつ	雪が激しく降り始める。
	12月22日頃	冬 至	とうじ	冬の間日。夜の長さが一番長い
晩 冬	1月 5日頃	小 寒	しょうかん	本格的な寒さが始まる。
	1月20日頃	大 寒	だいかん	寒さが最も厳しくなる。

72候一例：菖蒲華(あやめはなさく)⇒あやめの花が咲く⇒ 6月26~7月1日

訃 報

会員の飯島重光さんが逝去されました。享年94歳でした。飯島さんは生涯現役を貫き、最近迄車で仕事に通われていたと、花土さんに伺いました。お仕事の関係で湘南御行会の行事への参加は多くありませんでしたが生涯現役を貫かれた事に敬意を表します。お疲れさまでした心よりご冥福をお祈りいたします。 合掌

今後の主な行事予定と編集後記

特別警戒が解除されてから、藤沢市の市針に従い活動を再開いたします、行事は暫くお待ちください
 昨年6月号を見たら町内夏祭りの話題が書かれていました。今年はバザーポスター作成の依頼もありません。
 夏祭りも自粛になるのでしょうか？行事も無く、今月も文章だけの会報になりました
 7月号には明るいニュースを載せたいと思います。 皆様ご自愛ください